

Minami Kyushu University Syllabus											
シラバス年度	2021	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科	実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○		
科目名称 [英語名称]	公衆栄養学Ⅱ [The Public-health NutritionⅡ]			科目コード	305100	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	3年次
教員氏名	長友 多恵子			学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP2(2) DP3(3) DP3(4)						
授業概要	<p>本授業の目的は、公衆栄養学Ⅰで学んだことを基礎とし、栄養疫学、公衆栄養活動の内容・方法・実際の活動例および諸外国の健康・栄養政策等について学び説明できる理解と技術を身につけることである。【知識・理解を応用し活用する能力】</p> <p>まず、栄養疫学の手法を通して、公衆栄養と健康との関連を科学的に理解する。また対象集団に適切な栄養関連サービスを提供する公衆栄養プログラムの作成・実施・評価のマネジメントに必要な理論や方法を修得する。さらに諸外国の健康・栄養政策等について学び、管理栄養士の果たすべき役割についての理解を深める。【汎用性技能を応用し活用する能力】</p> <p>県庁・保健所にて行われている栄養調査等の方法の知識や実際を提示します。</p>										
関連する科目	「公衆栄養学Ⅰ」「公衆栄養学実習」「公衆衛生学」「健康管理概論」「保健医療福祉システム論」										
授業の進め方と方法	個人やグループで課題に取り組み、発表、相互評価を繰り返すことでテクニックを身につける。										
授業計画	1回目 栄養疫学1(疫学の概要、指標) 2回目 栄養疫学2(栄養疫学の方法) 3回目 栄養疫学3(食事調査方法) 4回目 公衆栄養マネジメント1(概念とプロセス) 5回目 公衆栄養マネジメント2(アセスメント) 6回目 公衆栄養マネジメント3(プログラムの目標設定) 7回目 公衆栄養マネジメント4(プログラムの計画) 8回目 公衆栄養マネジメント5(プログラムの実施) 9回目 公衆栄養マネジメント6(プログラムの評価) 10回目 公衆栄養プログラムの展開1(地域特性に対応したプログラム) 11回目 公衆栄養プログラムの展開2(食環境づくりのプログラム) 12回目 公衆栄養プログラムの展開3(ライフステージ別プログラム) 13回目 公衆栄養プログラムの展開4(障害者、生活習慣病ハイリスク集団のプログラム) 14回目 諸外国の健康・栄養問題の現状 15回目 諸外国の健康・栄養政策										
授業の到達目標	公衆栄養活動の果たす重要性を理解し、公衆栄養活動を実施するための知識や考え方を修得する【知識・理解を応用し活用する能力】										
授業時間外の学修	自分自身の食事調査を行い栄養計算を行う(2時間) 食事摂取基準について復習し、栄養計算結果と比較する(2時間) 応用栄養学で学んだライフステージ別栄養管理の特徴について復習し、公衆栄養プログラムに展開された例を調べ、その事例に対する改善点を見いだす(3時間) 公衆衛生学で学んだ障害者福祉の概要や地域づくりについて復習し、公衆栄養プログラムに展開された例を調べ、その事例に対する改善点を見いだす(3時間)										
課題に対する フィードバック	定期試験・レポートは評価をし、解説を行います。プレゼンテーションと質疑応答や発表の中でのアドバイスをを行います。			評価方法	以下の項目に基づいて評価します。 1)定期試験50点 2)レポート取り組み状況＋発表40点 3)授業態度等10点						
テキスト	・公衆栄養学改訂第6版(南江堂) ・テーマに応じた資料を配布										
参考書	・国民健康・栄養調査結果(厚生労働省) ・日本人の食事摂取基準2015年版(厚生労働省) ・必要に応じて適宜紹介する										
備考											